

FACTORY AUTOMATION

Quick Start IoT with

MELSEC iQ-F series



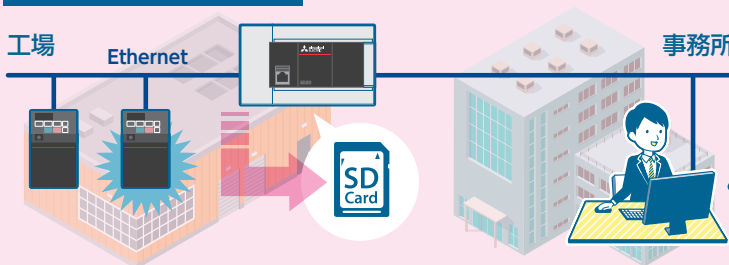
Vol. 04 活用する
Utilize



トラブル時の原因追及に活用!

トラブル発生時に全デバイスデータを一括保存! エラー発生箇所を特定しやすくなります。

メモリダンプ機能



離れた事務所でも原因分析が可能

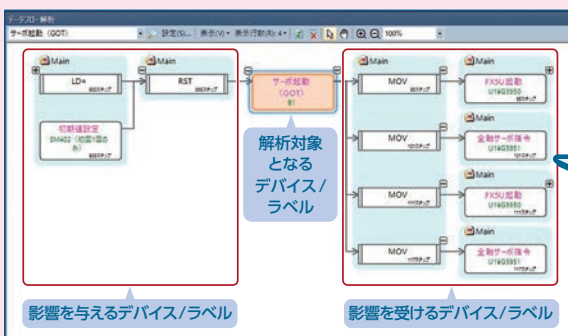


エンジニアリングソフトウェア GX Works3

GX Works3で簡単にエラー発生時の要因分析が可能!

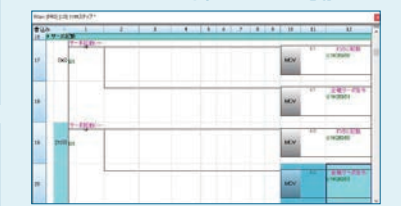
データフロー解析機能

解析対象に影響があるデバイス/ラベルをフロー図で表示でき、要因分析を効率よく行えます。



データフロー解析表示画面

ラダー画面での詳細確認も可能です。



エラー発生時の
要因分析に
役立つ!



GX Works3

設備の予知保全にも活用!

e-F@ctory 支援モジュール

三菱電機提供のサンプルプロジェクトで、開発コストを大幅に削減!

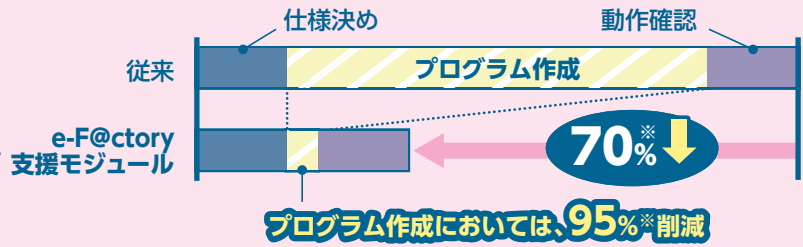
シーケンサでの基本設定のみでIoT機能が追加できるサンプルプロジェクトを無償で提供しています。

e-F@ctory 支援モジュール

無償提供



下記の各支社にお問い合わせください。



*: お客さまの仕様と合致し、e-F@ctory 支援モジュールの機能をそのまま使用した場合。

「MT法」で異常予測を!

MT法とは、統計解析で使用されるマハラノビス距離を応用した多変量解析手法です。異常予測で使用されることが多いです。



MT法で何ができるの?

- ▶▶ 複数の項目(電流, 電圧, 温度など)を解析し、正常時(平均)からどれくらい離れているのかを単一の値で表します。
- ▶▶ 正常時のデータから基準を作成するため、初めて発生する異常も検知可能です。

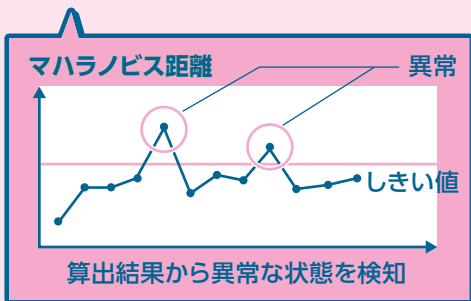
MT法を活用すれば

集めたデータを分析し、装置の「いつもと違う」を検出。突発的な故障を未然に防止できます。

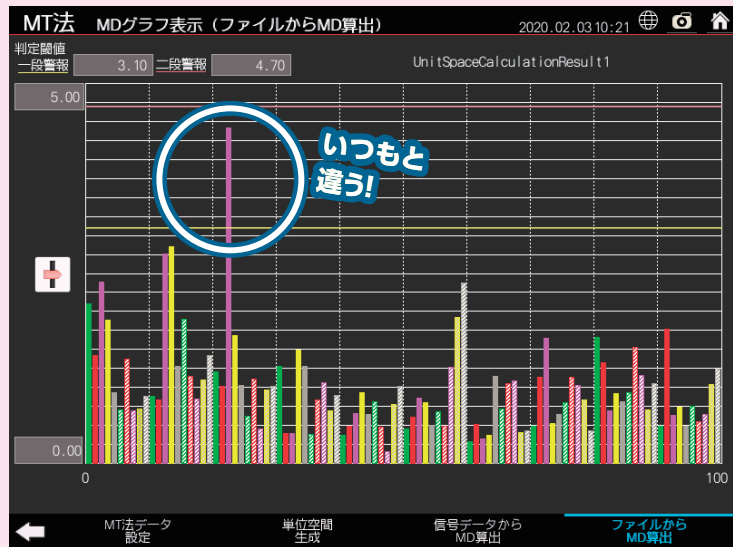
▶▶ 信号データからMD算出画面



正常データからの乖離具合(マハラノビス距離)を算出します。



▶▶ MT法 MDグラフ表示画面



算出結果をグラフ表示可能。不良傾向を可視化できます。

異常値を検知! 念のためにモータの交換時期を早めよう。



機種や機能の詳細および制約は、マニュアルをご覧ください。

三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)

本社(機器営業部)..... (03)5812-1450	神奈川支社..... (045)224-2624	中国支社..... (082)248-5348
北海道支社..... (011)212-3794	北陸支社..... (076)233-5502	四国支社..... (087)825-0055
東北支社..... (022)216-4546	中部支社..... (052)565-3314	九州支社..... (092)721-2247
関東支社..... (048)600-5835	豊田支店..... (0565)34-4112	
新潟支店..... (025)241-7227	関西支社..... (06)6486-4122	

▲ 安全に関するご注意

・本資料に記載された製品を正しくお使いいただくためご使用前に必ず「マニュアル」をお読みください。

商標、登録商標について

・本文中における会社名、システム名、製品名などは、一般に各社の登録商標または商標です。
・本文中で、商標記号(™, ®)は明記していない場合があります。